

橋梁技術の伝承に向けた取組み

内容

大阪市では、「なにわ八百八橋」と称されるように数多くの橋がかかっており、現在、大阪市建設局は 764 橋（平成 21 年 4 月現在）の橋を管理しています。

大阪市では高度経済成長期などに多くの橋梁を建設してきましたが、今後は、これらの橋を適切に維持管理していく必要があります。

橋の維持管理は、建設時に工夫や考慮した点などを十分に踏まえて実施していくことが望ましく、建設当時の技術的知識を若い世代に継承していく必要性が高まっています。

そこで、大阪市建設局橋梁担当では、これまで橋梁の建設に携わった職員を講師として招き、次の世代を担う若手職員に向けて、橋梁の整備や維持管理に係る留意点等を伝承していくための取組み（講義形式）を行っております。

今後も、このような取組みにより継続して技術の伝承にこころがけ、建設の時代から維持管理の時代へ適切に対応できるよう、より一層努力してまいります。



講義状況



講義状況

主な内容

- ・ 橋梁の設計に関する一般論
- ・ 自転車道にかかる橋の設計
- ・ 河川改修による橋の架替え
- ・ 橋梁の環境整備（橋面美装化、顕彰碑整備、ライトアップ等）